



昭和44年10月1日
児童文化センター創立
子どもの夢を育てる場として、北関東で初のプラネタリウムやミニ都市が作られた。



開館当初からゴーカート大人気
12台のゴーカートには長蛇の列が。1時間待ちになることも。今でも人気の遊具。



昭和44年 交通天文教室開始
プラネタリウムでの天文教室、交通公園での自転車教室がスタート。



昭和51年5月 SL[D51]設置
当時、国鉄で最後まで走っていたSLの一台。今でも公園内に設置されている。



昭和45年3月 現発明クラブ
昭和46年 現演劇クラブ誕生
小中学生が取り組むクラブ活動が誕生。発明クラブは当時県内で初めて。



昭和45年1月 合唱団誕生
定員80人を大きく上回る227人の応募があり、2つのグループに分けて練習開始。



昭和59年 現宇宙クラブ
平成2年 現ジュニアオーケストラ誕生
星空の観察や弦楽器練習に取り組む、現在もお馴染みのクラブが誕生。



平成6年 環境冒険隊誕生
小中学生のメンバーでスタート。これで現在まで続く6つのクラブ活動が全て開始された。



平成24年
新しい児童文化センターが開館
公園の中心に建てられ、プラネタリウムも新しく。

10年、20年先も、笑顔があふれる場所に。これからも子どもたちの新たな発見や学びを後押しし、みんなに愛され続ける場所を目指していきます。

50周年記念式典

50周年記念式典と記念レセプションを開催。こども秋まつり期間中の11月3日(日)に実施します。レセプションでは、ジュニアオーケストラによる弦楽合奏や合唱団の児童の発表を行います。

また、式典開始前の9時30分からは時の広場除幕式を実施します。

日時=11月3日(日)10時15分~40分



子どもたちの楽しそうな声が響く児童文化センター。横断歩道や信号機があるのが特徴的なこの公園で、子どもの頃に遊んだ記憶がある人も多いのではないだろうか。

児童文化センターは昭和44年に開館。ゴーカートや大きな遊具、プラネタリウム、さまざまな体験教室、クラブ活動など、子どもたちの遊びと学びの場として愛されてきました。今では市外から訪れる人も多く、親子連れに人気の施設です。

そんな児童文化センターは今年で50周年。ここでは50年間のあゆみの一部を紹介。思い出とともに振り返ってみてください。

児童文化センター
027・224・2548



これからも、この主役は子どもたち

児童文化センター館長 佐藤 博之

高度経済成長期だった50年前、お金やモノが第一になりがちなこの時代に、子どもの心と夢を育てる施設として児童文化センターは誕生しました。ここでは子どもが自ら考え、感じ、学ぶことをずっと大切にきてきています。50年間変わらないこのコンセプトが、今まで愛されてきた理由だと思います。最近では団体、大学、企業などと一緒に活動

することや、多くのボランティアと関わることが増えています。いろいろな人が、子どもたちの学びと遊びをつくり出している。児童文化センターが、子どもたちと市民の活動をつなぐ場になってきていると感じます。今後も、子どもたちが主人公になって、自らの力で学びや文化をつくり出していく、そんな施設で在り続けたいです。

